



氷結する鎌北湖
昭和59年2月（根本浩さん提供）

最近、あまり見られなくなりましたが、当時は鎌北湖が全面的に凍りつくことがありました。近年の環境問題などが影響しているのかもしれませんが、今となってはとても貴重な写真であるといえます。

現在の風景



募集中

昭和60年代ごろまでの昔の写真を募集しています。提供いただける方は、役場秘書広報課広報広聴係 ☎ (295)2112内線332までご連絡ください。

後然歳時記

こたつ



「雪やこんこ あられやこんこ」で始まる文部省唱歌『雪』。この唱歌の一節で「猫はこたつで丸くなる」とありますが、こたつは、冬の寒い時期に足元から心地よく身体を温めてくれる暖房器具として、昔からとても重宝されてきました。

こたつが初めて登場したのは、室町時代のことです。もともとは囲炉裏が使われており、囲炉裏の火が消えかけた際、熱源である炭を紙で被い、その上に「こたつやぐら」と呼ばれるやぐらを組み、布団を掛けて暖をとったのが始まりでした。こたつが使用され始めた当初は、その熱源に木炭や豆炭、練炭といった炭を使用していました。その後、江戸時代中期になってからは、火鉢をやぐらで囲い、布団をかけたことにより、熱源を持ち運ぶことができるようになりました。こうして出来たのが、現在みられるような畳の上に置いて使う置きごたつです。また、一般的に掘りごたつと呼ばれる腰掛けごたつは、明治になってから、日本を愛するイギリス人によって開発されました。熱源に電気が使用されるようになったのは、戦後のことで、歴史はそれほど古くありません。こたつは、形態こそ大きく変わることはありませんでしたが、冬には欠かせない暖房器具として人びとの生活とともに発達してきたといえます。

これから本格的に寒い季節になってきます。ますますこたつから出られなくなってしまいそうですが、晴れた暖かい日などは、散歩などで外へ出かけてみるのもいいのではないのでしょうか。

【編集後記】 新たな年になりました。広報担当になってから元日に桂木観音で初日の出を撮影することが、すっかり一年の初めの行事になりました。今年も素晴らしい初日の出を拝むことができ、少し得をした気分です。どうか今年も「広報もろやま」をよろしく願いいたします。(1)

わがやのアイドル



山崎 琥大朗くん
(3歳)

山崎 桜鼓ちゃん
(1歳6か月)

お調子者の琥大朗に、ちゃっかり者の桜鼓。ソーラン節・人形劇・太鼓が大好き。たくさんの方に可愛がって頂き、すくすく育っています。



大野 央歩くん
(5歳8か月)

大野 陽歩ちゃん
(3歳3か月)

年齢が近いからお互いがライバル！ おやつの量、手を洗う順番、何から何まで1番は譲れない兄妹。けんかもほどほどに、あんまりママを怒らせてはダメだよ！

■ 秘書広報課では「わがやのアイドル」を募集中です。
申・問 役場秘書広報課 ☎ (295) 2112 内線 332

人口 36,510人 (-39人)
【男 18,176人 (-29人) 女 18,334人 (-10人)】
世帯 15,718戸 (-20戸)
※平成23年1月1日現在(カッコ)内は前月比

口広報もろやまは、役場ホール、両公民館、図書館、保健センター、教育センター、総合公園体育館、歴史民俗資料館、福祉会館に置いてあります。